

瓢箪崩山道迷い(2021年11月)

江文峠方面への看板は、斜め左への矢印がありその方向へ進む。途中、赤色テープもあるため尚も進むが枝尾根に入り込み道迷い。確実に分かる寒谷峠まで引き返した。



解説

江文峠方面へ。斜めの矢印。斜めの矢印だから左へ登っていく道だろうと……。正解は右でした。寒谷峠で左の尾根に登った後、迷走して西方の枝尾根に行ってしまう、分からないので寒谷峠に戻りました。40分ロス。寒谷峠から江文峠は、右の平坦道に行くのが無難です。江文峠手前から西に坂原峠まではGPS起動で慎重に行きました。(HP参照)

寒谷峠で方向を変えなければ、正しい尾根に行くことはできないのだが、看板を頼りに歩いてしまった事例。また、赤テープを頼りに歩いてきたために起こる道迷いの事例は比較的多い。

したがって、道に迷わないためには、地図の先読みが大切で、看板や赤テープは補助的に考えないといけない。

地図アプリを使用している登山者が近年多くなり、道迷いから遭難し、警察に救助を求める件数の割合は令和4年(36.5%)に比べ令和5年(33.7%)は若干減少した。これが地図アプリのおかげなのか今後の検証が必要と思われるが、道迷い遭難が減っていくことを想像すると嬉しくなる。このため、道に迷わないための啓蒙活動を今後も続けていきたいと思っている。